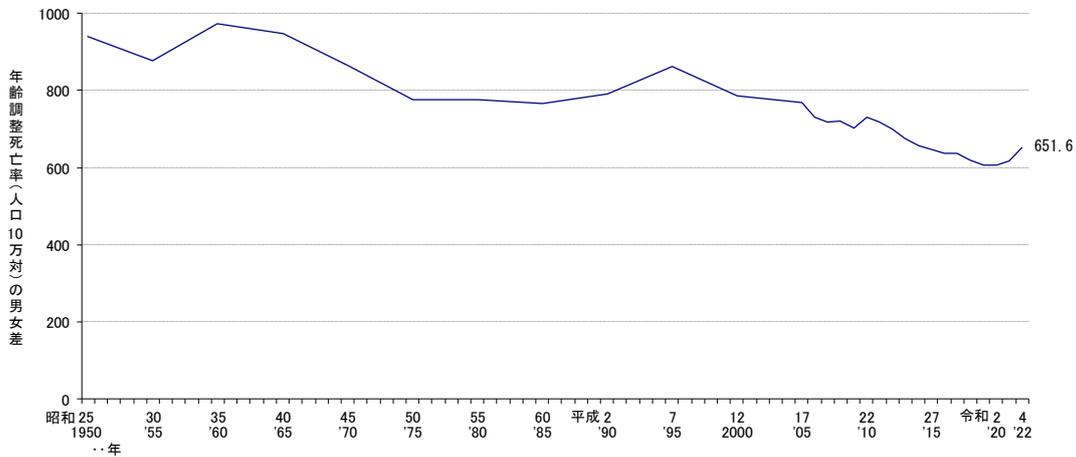


### 3. 年齢調整死亡率の男女差

#### (1) 全国の年齢調整死亡率の男女差の年次推移

令和4年(2022)の全国の年齢調整死亡率の男女差は、651.6 ポイントであり、昭和 25 年(1950)以降縮小傾向が続いていたが、令和3、4年(2021、2022)は拡大している(図5)。

図5 全国の年齢調整死亡率の男女差の年次推移



#### (2) 都道府県別にみた年齢調整死亡率の男女差

令和2年(2020)の年齢調整死亡率の男女差を都道府県別にみると、長野、滋賀、岐阜、奈良、神奈川等で小さく、青森、秋田、大阪、山口、高知等で大きくなっている。

都道府県別年齢調整死亡率の男女差を時系列で見ると、昭和55年(1980)が群馬、平成2年(1990)が福井、平成12年(2000)が埼玉、平成22、令和2年(2010、2020)が長野で最も小さく、昭和55年、平成2、12、22、令和2年(1980、1990、2000、2010、2020)のいずれも青森で最も大きくなっている。(図6)

図6 都道府県別年齢調整死亡率の男女差の推移

—昭和55・平成2・12・22・令和2年(1980・1990・2000・2010・2020)—

